平成２７年６月　　第８号（牛）
東部・北部家畜防疫獣医師会
（公社）千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL0475(52)4101　FAX0475(52)3335
http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/kaho/toubu/index.html

消毒薬の種類と使用方法について

　家畜伝染病予防法の飼養衛生管理基準では、衛生管理区域に入る車両や人の消毒が義務付けられています。消毒薬の種類はいくつかあり、それぞれ長所・短所があります。目的に合った正しい方法で使用して、病気を予防しましょう！

◎：使用に最適
○：使用に適する
△：一部の薬剤では効果あり

種類	細菌		真菌	ウイルス※		コクシジウム	使用対象					金属腐食性
	一般細菌	芽胞菌		エンベロープ有	エンベロープ無		畜舎	器具	踏込槽	畜体	車両	
逆性石鹸 パコマ、アストップ、クリアキル等	◎		△	○			◎	○	○	◎	○	
塩素系 クレンテ、アンテックビルコンS等	◎	◎	○	◎	◎		○	○	○	○		強
ヨード系 バイオシッド、クリンナップ等	◎	○	○	○	◎		○	○	○	◎		強
アルデヒド系 グルタクリーン等	◎	◎	◎	◎	◎		◎	○	○		○	
オルソ剤 タナベゾール、トライキル等	◎		○	○		○	○	○	○			
消石灰	◎		○	○	○		○		○			

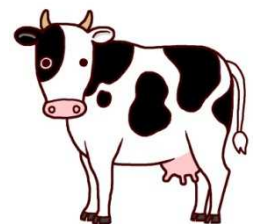
※エンベロープ有：牛伝染性鼻気管炎、牛ウイルス性下痢粘膜病、牛コロナウイルス病、牛流行熱、牛RSウイルス病　等
エンベロープ無：口蹄疫、牛アデノウイルス病、牛ロタウイルス病　等

１　効果的な消毒のポイント

（１）長靴の汚れを落として消毒！
　踏込み消毒槽に入る前は、長靴をよく洗っておきましょう。
　泥や糞が付いていると、消毒効果が低下します。

（２）正しい消毒薬を選びましょう！
　消毒薬の中には鉄を腐食させるものがあるので注意しましょう。
　また、目的の病原体に効果があるのか調べて使用しましょう。

（３）消毒薬は定期的に交換！
　消毒薬が汚れると効果が低下します。汚れたらこまめに交換しましょう。
　消石灰は雨などで流れたら、再度散布しましょう。

（４）消毒薬の用法・用量を守る！
　説明書をよく読んで、正しい希釈濃度で使用しましょう。

２　消毒薬の使用上の注意

（１）種類の違う消毒薬を混ぜない！

アルカリ性消毒薬（消石灰等）と酸性消毒薬（ビルコン、クレンテ等）を混ぜると効果がなくなるので注意しましょう。

（２）ゴム手袋・マスク・保護メガネの着用を！

刺激性の消毒薬やアレルギー体質者は使用時・調整時に手袋やマスクなどを装着しましょう。

（３）安全な場所に保管！

消毒薬は扱いを間違えると大変危険です。事故が起こらないように、幼児の手の届かない場所で保管しましょう。

（４）休薬期間に注意！

消毒薬によっては畜体に直接噴霧すると、定められた期間と畜場へ出荷できなくなるものがあります。

また、畜体への噴霧自体を禁止している消毒薬もありますので、使用前に取扱説明書等でよく確認しましょう。

★参考：主な消毒薬の休薬期間

パコマ⇒2日間、クリアキル⇒5日間、アストップ⇒5日間、
クレンテ⇒2日間

≪休薬期間が3日間の例≫
7月1日に畜体噴霧 ⇒ 7月2日～7月4日休薬 ⇒ 7月5日から出荷できます

消毒薬の希釈

	作ろうとする希釈倍率に必要な消毒薬の量			
水（L）	100倍	200倍	500倍	1000倍
10	100ml	50ml	20ml	10ml
20	200ml	100ml	40ml	20ml
50	500ml	250ml	100ml	50ml
100	1L	500ml	200ml	100ml
200	2L	1L	400ml	200ml
500	5L	2.5L	1L	500ml
1000	10L	5L	2L	1L

（例）1000倍希釈

ペットボトルのキャップ
（1杯が約5ml）

10Lのバケツ

10Lのバケツ1杯の水に、キャップ2杯の消毒薬を入れると、1000倍希釈の消毒液ができます。

東部家畜保健衛生所
Tel.0475-52-4101　Fax.0475-52-3335
夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください